

群馬県立歴史博物館年報

第 38 号

平成28年度版

群馬県立歴史博物館

目 次

I 事業の概要	1
1 展示活動	1
2 教育普及	8
3 歴博アカデミー	13
4 調査・研究	22
5 資料の収集・整理	26
6 利用状況	28
7 改修工事	31
II 組織及び運営	35
1 運営組織	35
2 歳出・歳入決算概要	36

I 事業の概要

1 展示活動

(1) 常設展示

ア 東国古墳文化展示室

大項目	中項目	主な展示資料
群馬県古墳総合調査と金井東裏遺跡の調査	古墳王国・群馬を偲ぶ～「群馬県古墳総合調査」の成果を通して～	「上毛古墳総覧」、「古墳調査票」「尾崎喜左雄博士考古資料」 武人埴輪（高塚古墳）、鷹匠埴輪（オクマン山古墳）、盾持ち人埴輪（保渡田八幡塚古墳）、馬形埴輪（蛇塚古墳）、鶏形埴輪（浅田3号古墳）、石見形埴輪（前二子古墳）、器財埴輪（富岡5号古墳）、円筒埴輪（七輿山古墳）、内行花文鏡（本郷大塚古墳）、五鈴鏡（鍛屋地2号古墳）、単龍環頭大刀柄頭（皇子塚古墳）、円頭大刀（川内天皇塚古墳）、蕨手刀（上原古墳）、壺鑑（奈良カ号古墳）、鈴杏葉（洞山古墳）、石製模造品（鶴山古墳）子持勾玉（館野遺跡）
	甲を着た古墳人の発見と東国古墳文化～金井東裏遺跡の発見成果を通じて～	金井東裏遺跡1号人骨（甲を着た古墳人）出土状況（模型）、鹿角製小札（模型）、金井東裏遺跡出土品（珠文鏡、大刀、鉄鏃、石製模造品、勾玉、管玉、ガラス小玉、須恵器、土師器、赤玉）

イ 原始展示室

大項目	中項目	主な展示資料
遊動する旧石器人	岩宿遺跡の発見	岩宿遺跡土層剥ぎ取り
	狩猟採集民の道具	岩宿遺跡出土石器（複製）、石器（下触牛伏遺跡・三和工業団地I遺跡・東長岡戸井口遺跡・柏倉芳見沢遺跡・市之関前田遺跡・八ヶ入遺跡ほか）
	移動生活と石器づくり	石器づくり映像、3万5千年前のムラ〔復元画〕、槍先形尖頭器（房谷戸遺跡）、局部磨製石斧（上泉唐ノ堀遺跡）、石棒（下鎌田遺跡）、石材サンプル（黒色安山岩、黒色頁岩、黒曜石、チャート、大山産石英安山岩ほか）
成熟する縄文社会	土器文化と定住生活	縄文土器（白井北中道遺跡・波志江中屋敷遺跡・分郷八崎遺跡・糸井宮前遺跡・三原田遺跡・矢太神沼遺跡・天神原遺跡・保美濃山遺跡・千網谷戸遺跡ほか）、有舌尖頭器（見立溜井遺跡ほか）、石斧（小島田八日市遺跡）、石鏃（八木沢清水遺跡ほか）、石匙・石錐（糸井宮前遺跡）、凹石・石皿（糸井宮前遺跡）、打製石斧（房谷戸遺跡）、磨製石斧（横壁中村遺跡）、黒曜石原石

		(糸井宮前遺跡)、ヒスイ大珠(白川傘松遺跡)、中野谷松原遺跡模型
	縄文人の祈り	土偶(天神原遺跡・中栗須滝川Ⅱ遺跡)、獣面把手(上丹生屋敷山遺跡・神保植松遺跡)、土面(本遺跡)、岩版・独鈷石(中栗須滝川Ⅱ遺跡)、石棒(南蛇井増光寺遺跡)
縄文至宝の部屋		注口土器(林中原Ⅰ遺跡)、土製耳飾り(石之塔遺跡)、深鉢(三原田遺跡)、岩版(菅塩遺跡)、ヒスイ(硬玉)製大珠(高崎情報団地Ⅱ遺跡)、石槍(黒熊第5遺跡)、両尖尖頭器(黒井峯遺跡)、石製垂飾(大上遺跡)ほか
農耕社会への道のり	再葬墓の世界	弥生土器(上ノ久保遺跡・上人見遺跡・神保植松遺跡・七日市観音前遺跡ほか)、人歯骨製垂飾(八束脛洞窟遺跡)、石鍬(安養寺森西遺跡)
	水稻農耕文化の展開	炭化米(有馬条里遺跡)、磨製石斧(南蛇井増光寺遺跡・新保遺跡)、石庖丁(荒砥宮川遺跡)、弥生土器(清里庚申塚遺跡・有馬遺跡)、木製農具(新保遺跡)、板状鉄斧(川端遺跡)、新保遺跡模型
	人の移動と社会の再編	鉄剣(有馬遺跡)、鹿角製柄頭(新保田中村前遺跡)、鉄鏃(有馬遺跡ほか)、銅鏡(長谷津遺跡)、骨角歯牙製品(新保田中村前遺跡)、土器(貝沢柳町遺跡・中居町一丁目遺跡・新保遺跡・荒砥上ノ坊遺跡・東上之宮遺跡ほか)

ウ 古代展示室

大項目	中項目	主な展示資料
東国の開拓と古墳社会	平野の大開発と古墳の登場	三角縁神獣鏡(川井稻荷山古墳)、舟形木製品(下田遺跡)、石田川式土器(石田川遺跡)、壺形土器(前橋天神山古墳)
	巨大古墳を生み出した力	儀仗・小銅鐸(中溝・深町遺跡)、石製品(下佐野遺跡)、水鳥形埴輪(太田天神山古墳)、短甲・冑(鶴山古墳)、鉄鋌(上丹生屋敷山遺跡)
	馬文化と東国の要衝	垂飾付耳飾・轡・韓式系土器(剣崎長瀬西遺跡)、鉄製轡(西大山遺跡1号古墳)、馬形土製品(高崎情報団地Ⅱ遺跡)同向式画文帯神獣鏡(古海原前1号古墳)
	上毛野のむらとくらし	黒井峯・西組遺跡模型
東国の政治と文字文化	上毛野国から上野国へ	馬具・鉄製武器(川額軍原Ⅰ遺跡)、軒丸瓦・文字瓦「放光寺」[複製](山王廃寺)、唐三彩-陶枕(多田山12号墳)「総社バーチャルツアー」(VRコンテンツ)
	文字を書く・読む・伝える	上野三碑模型、山上多重塔模型、石製紡錘車(矢田遺跡)、鬼瓦(黒熊中西遺跡)文字瓦(上野国分寺跡)
	都と東北を結ぶ道	飛鳥京・藤原宮・平城宮出土木簡[複製]
	揺れ動く政治と社会	上野国交替実録帳[複製]、「上野国交替実録帳の世界」(映像コンテンツ)

エ 中世展示室

大項目	中項目	主な展示資料
東国武士の原風景	鎮守府將軍の末裔	耕作痕地層剥ぎ取り標本 耕作痕直溝面剥ぎ取り標本
	赤城山南麓の開発と信仰	新田義重譲状〔複製〕、新田義重置文〔複製〕、虚空蔵菩薩懸仏〔複製〕、虚空蔵菩薩坐像、赤城大明神御本地、赤城根元記、俵藤太物語絵巻、小鳥が島出土鏡、虚空蔵菩薩坐像（懸仏）〔複製〕
	石塔と石仏のある風景	石造不動明王立像〔複製〕、五輪塔（水輪）未製品、五輪塔（火輪）半製品、宝篋印塔（相輪欠）、宝篋印塔、五輪塔、名号板碑、仁治の碑〔複製〕
	世良田のこぎわい	木造船船梁榭椅像、普光庵出土蔵骨器（古瀬戸瓶子）、伝新田義貞椅像、栄朝禪師椅像〔複製〕、伝徳川義季椅像、出山釈迦図、北条高時公帖（長楽寺文書）〔複製〕
大乱の始まり	新田氏から上杉・長尾氏へ	新田義貞と南北朝の動乱（シアター）、太平記絵巻〔複製〕、鎌倉府執事奉書（長楽寺文書）〔複製〕、鎌倉公方家寄進状（長楽寺文書）〔複製〕、鎌倉公方家寄進状（長楽寺文書）〔複製〕、長尾憲明寄進梵鐘、碁盤（伝上杉頼定所用）、釣り鐘型瓦灯、銅製花瓶、銅製火舎香炉
	越境する人と文化	青磁碗、青磁小皿、白磁小皿、白磁八角杯、渥美蓮弁文壺、銭、古瀬戸瓶子（蔵骨器）、古芦屋藪窯、天目茶碗、青磁大皿、青白磁梅瓶
	上州ブランドの黎明	小侍従書状〔複製〕、砥石、鉄錆地六十二間小星兜、鉄黒漆塗六十二間小星兜、鉄地六十二間小星兜、鉄黒漆塗六十二間小星兜、鉄錆地六十二間小星兜鉢、金箔押六十二間小星兜、鉄黒漆塗六十二間小星兜、雪下洞具足
戦乱から統一へ	自立する戦国領主	関東幕注文〔複製〕、上杉彌虎書状、上杉彌虎安堵状
	戦国の城を探る	内耳鍋、中国産磁器片（青磁碗・白磁碗・青磁香炉）、国産陶器片（皿・壺・埴）、茶臼（上臼）、砥石、神保植松城模型
	戦国の村の歳時記	長楽寺永祿日記〔複製〕

オ 近世展示室

大項目	中項目	主な展示資料
泰平の世の始まり	上野国の大名	井伊直政画像〔複製〕、金小札黒糸威具足、松平直賢黒印状
	村のくらしと新田開発	農耕図、上野国利根郡上川場村之内谷地組御検地水帳、高札 キリシタン訴人、力田遺愛碑〔複製〕
	蚕糸・織物業の隆盛	蚕養育手鑑、猫絵、座繰り、関東市町定日案内、桐生書上家織物取引図、前橋藩糸商人仲間鑑札、女職蚕手業草、書上勝房像
		中山道分間延絵図〔複製〕、七日市藩主大坂登城行列図、関所手形、旅

躍動する民衆	水陸交通の十字路口	枕、高瀬舟 [模型]、倉賀野宿・河岸復元模型、「水陸交通の十字路口、上州」 [映像]
	参詣と湯治	日本名山図会、上州春奈山之図、上州妙義詣、諸国温泉功能鑑
	華開く郷土文化	小八木人形、渋川往来、前橋町々祭礼行列絵巻、算額
封建社会の崩壊	災害と人びとのくらし	東宮遺跡出土遺物、浅間山吹出之絵図、頼閨公幼育御諭
	横浜開港と幕末の動向	水戸天狗党絵巻 [複製]、ポーハタン号航海記、一揆御舟の木札

カ 近現代展示室

群馬の文明開化	製糸業の近代化	富岡製糸場模型、碓氷社模型、富岡日記音声
	貿易と海外との交流	碓氷社生糸商標、生糸販路拡張ニ関スル意見書、ドイツ製顕微鏡、英国議会調査報告書
	群馬の教育文化	養蚕日誌、第五回内国勸業博覧会名誉金牌授与状（養蚕改良高山社）、蚕体模型、桑模型
	明治期の群馬県政	群馬県治一覧、群馬県案内、修身説約、一府十四県連合共進会絵はがき
戦争とくらし	群馬の軍事施設	高崎十五連隊真景、連隊歴史、岩鼻火薬製造所爆発事故一覧表、岩鼻火薬製造所保育証
	戦時下の生活	中島飛行機軍用機模型、木製プロペラ、東京都集団疎開資料、桑皮ズボン、アメリカ軍投下ビラ
新しい群馬の息吹き	戦後復興のシンボル	群馬交響楽団馬上ティンパニー、群馬交響楽団定期演奏会パンフレット、旧版上毛かるた、上毛かるた原画
	経済成長と変化するくらし	スバル 360、ラビットスクーター、群馬ニュース [映像]、アプト式第三軌条、観光絵はがき
	現代群馬のあゆみ	明治から平成にかけての県内（高崎市・館林市・神流町・嬭恋村）の写真

キ テーマ展示①

「ぐんまの祭りと芸能」

(ア) 期間 平成 28 年 7 月 23 日(土)～平成 28 年 11 月 20 日(日) 開催日数 106 日

(イ) 趣旨

テーマ展示室開室第 1 弾は、オープニングにふさわしい華やかさを持つ展示を意識した。県内各地には古くから伝わる祭りや郷土芸能があり、これらはそれぞれの土地で絶えることなく大切に伝えられてきたもので、郷土愛の醸成やコミュニティの形成に大きな役割を果たしてきた。群馬県無形民俗文化財に指定された祭り・芸能を実演も含めて紹介し、未来に生きる子どもたちに地域が持つ文化財について再認識してもらおう契機とした。

(ウ) 主催 群馬県立歴史博物館

(エ) 会場 群馬県立歴史博物館 テーマ展示室

(オ) 展示構成と主な展示資料

祭り

「鳥追い祭」太鼓・バチ（中之条町鳥追い祭保存会蔵）・縁起物（当館蔵）

「五料の水神祭」麦ワラ船〔模型〕（当館蔵）

「龍舞賀茂神社の萬燈祭」大萬燈（龍舞萬燈保存会蔵）

芸能

「門前の春駒」春駒、うちわ太鼓、繭袋、衣装（門前春駒保存会蔵）

「榛名神社神代神楽」面、道具、衣装（榛名神社蔵）

「下南室太々御神楽の養蚕の舞」面、道具（下南室太々御神楽保存会蔵）

「古馬牧の人形浄瑠璃」人形、カシラ〔複製〕（下牧人形保存会蔵）

「下長磯あやつり式三番」人形〔複製〕（下長磯操翁式三番叟保存会蔵）

「千本木龍頭神舞」カシラ〔伊勢崎市指定重要文化財〕（千本木龍頭神舞保存会蔵）

映像

映像資料「五料の水神祭」ほか

(カ) 展示資料点数 55点

(キ) 関連行事

郷土芸能実演「千本木龍頭神舞」（千本木龍頭神舞保存会）

日時：7月23日（土）10：45～11：45

場所：学習ホール

郷土芸能実演「古馬牧の人形浄瑠璃」（下牧人形保存会）

日時：9月11日（日）13：30～14：30

場所：学習ホール

郷土芸能実演「下南室太々御神楽の養蚕の舞」（「下南室太々御神楽保存会）

日時：11月6日（日）13：30～14：30

場所：学習ホール

ク テーマ展示②

「道具の教室～今とむかし、道具のいいところ発表会～」

(ア) 期間 平成28年12月3日（土）～平成29年3月26日（日） 開催日数93日

(イ) 趣旨

平成28年度のテーマ展示第2弾として、明治から現在にかけての生活道具を時系列で展示した。展示室を教室に、むかしの道具を児童に見立て、道具がそれぞれいいところを発表する吹き出しをつけた。また、ハンズオン展示を取り入れて道具を360度見てさわられるように展示した。期間中、小学校3・4年生の社会科学習内容「古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子」に基づく学習プログラム「むかしの道具調べ」を

学校団体向けに実施した。

(ウ) 主催 群馬県立歴史博物館

(エ) 会場 群馬県立歴史博物館 テーマ展示室

(オ) 展示構成と主な展示資料

<道具ふきだしエピソード>

道具の思い出（観覧者より募集）、給食サンプル

<道具のいいところ発表会>

ごはんをたく道具（おかま、電気釜、電気炊飯器）

せんたくをする道具（たらい、洗濯板、電気洗濯機、全自動洗濯機）

はなしをする道具（壁掛け電話、黒電話、携帯電話）

そうじをする道具（ほうき、電気掃除機、ロボット掃除機）

<道具の変遷>

100年くらい前の道具（火ばち、炭火アイロン、氷冷蔵庫、あんどん、いづめ）

50年前くらいの道具（電気アイロン、魔法瓶、手回しせんたく器、白黒テレビ）

今使っている道具（スチームアイロン、電子レンジ、エアコン、薄型テレビ）

<遊びの間>

けん玉、お手玉、めんこ、野球盤

(カ) 展示資料点数 57点

(2) 展示解説

常設展示のリニューアルに伴い、10月より解説員による常設展示解説業務を開始した。

解説実施回数

	定時解説		随時解説		予約解説		質問解説	学芸員解説	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	件数	人数
10月	26	85			5	50			
11月	23	56			7	90	149		
12月	19	66			0	0	197	7	128
1月	20	49	0	0	0	0	288	0	0
2月	33	120	1	3	1	9	351	0	0
3月	23	72	1	9	9	197	373	7	136
合計	144	448	2	12	22	346	1358	14	264

*定時解説は、10時及び14時から行う常設展示解説。

*随時解説は、来館者の希望に応じて行う常設展示解説。

*予約解説は、団体等の事前申込による解説希望に対して解説員が行う常設展示解説。

*質問解説は、各展示室に配置された解説員が観覧者の質問に答えたり、説明したりするもの。

*学芸員解説は、団体等の事前申込による解説希望に対して学芸員が行う常設展示解説。

2 教育普及

(1) 学校教育との連携

「たくましく生きる力を育てる」（平成 28 年度群馬県学校教育の指針）学校に対して、次のとおり事業を実施し学校教育との連携強化に努めた。

ア 学校団体の利用促進のための広報活動

県内小・中・特別支援学校および県外小学校に、学校向け利用案内パンフレットを配布した。今年度は特にリニューアルオープンすることを案内に盛り込んだ。

イ 学校向け体験・学習プログラムの実施

(ア)歴史を楽しむためのワークシートの活用

展示室を見学する小学校低学年向けに「れきはくたんけんマップ」、小学校中・高学年向けに「れきはくたんけんブック」を作成した。

(イ)「石うす体験」の実施

学習室で、石うすを回して米を粉にする体験学習を実施した。

(ウ)「むかしの道具調べ」の実施

テーマ展示室で、「むかしの道具カード」を用いた調べ学習を実施した。

(エ)「あかりの学習」の実施

視聴覚室で、提灯や白熱灯など、むかしの明るさを体感する学習を実施した。

ウ 臨時休館日の学校団体受け入れ

展示替え等の臨時休館日には、学校団体のみ受け入れ、展示見学を利用できるようにした。

エ 職場体験の生徒受け入れ

小学生の体験学習補助、発送作業、展示室看視業務などを体験する機会を提供した。

オ 近代美術館との連携

隣接する近代美術館の学校向けプログラムや展示見学とローテーションを組んで両館を利用できるようにした。

(2) 広報活動

ア ちらし配布

県内各小・中・養護・高等学校、県内教育機関、県内文化会館、県内各市町村、県内博物館、県内図書館、県内報道機関、県内観光施設等

イ ニュースレター配布

県内各小・中・養護・高等学校、県内教育機関、県内文化会館、県内各市町村、県内外博物館、県内図書館、県内外報道機関、県内外観光施設等

※ニュースレターNo.1～3の増し刷りを配布

ウ 県広報課関係広報

ぐんまちゃんの掲示板、ぐんま広報、グラフぐんま、ぐんま情報トッピング等

エ 県内報道機関へのPR

上毛新聞本社、読売新聞前橋支局、朝日新聞社前橋総局、毎日新聞社前橋支局、産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、上毛新聞ぱれっと編集室、上毛新聞タカタイ編集室、朝日ぐんま、群馬よみうり、群馬東部よみうり、日本放送協会前橋放送局、群馬テレビ、エフエム群馬（出演を含む）、ラジオ高崎（出演を含む）等

オ 広報誌掲載

タウン情報誌、月刊情報誌、歴史関連雑誌等

カ 紀要配布

県内教育機関、県内各市町村教育委員会、県内外博物館、県内図書館、国関係機関等

キ 年報をホームページに掲載

年報を当館ホームページに PDF ファイルで掲載

ク 学校団体利用促進広報

県内小・中・養護・高等学校、県内各市町村教育委員会への利用案内の配布
県総合教育センター初任者研修の受け入れ
西部教育事務所の指導主事視察の受け入れ（年2回）
校長会・教頭会の見学受け入れ

ケ ホームページの充実

資料一覧や資料画像等、掲載情報の充実
イベントや休館日を確認できる開館カレンダーの掲載
ニューズレターを当館ホームページに PDF ファイルで掲載
Facebook ページの更新

コ 群馬の森来園者に対する広報の充実

公園入口へのポスター掲示

サ 各種イベントへの参加

東国文化サミットで、はにわチョコ等のワークショップを実施
ぐんまマラソンPRブースで、歴史博物館サイコロチャレンジ等のワークショップを実施

(3) ボランティア

歴史博物館ボランティアとして、次の活動に従事している。

- ・体験ボランティア…体験学習の学習者に対する支援、指導、準備
- ・東国古墳文化ボランティア…東国古墳文化展示室の看視業務
- ・カレッジガイド…展示室内での土器パズル等のハンズオンを支援

ア 概要

登録ボランティアは現在 40 人が登録している。土・日曜日、祝日の活動が中心で、歴史や社会貢献、社会的有用労働に興味を持っている人の参加が多い。

年代別に見ると、60 代以上が大半を占めており着実に高齢化が進んでいる。60 代以上の人は退職後に、社会のために何か役立ちたいという理由でボランティア活動を始めた人が多く、土・日曜日だけでなく平日も活動している。

ボランティアの居住地は、当館から 1 時間以内の市町村（高崎市・前橋市・藤岡市・伊勢崎市）が多いが、中には東毛地区や県外から長時間かけて来館するボランティアもいる。

今年度も、高等学校の夏休み中に活動する学生ボランティアを募集した。高校生 18 名が、各種サマーワークショップとオープンイベント「ぐんまちゃんを探せ」における指導補助に従事した。

イ 年間の活動人数

- ・体験ボランティア …学校向けプログラムと一般向けプログラムの支援として、のべ 210 人が参加（7 月～3 月）
 - ・高校生ボランティア…イベント補助としてのべ 91 人が参加（7,8 月）
- ※東国文化ボランティアとカレッジガイドは人数に含まない。

ウ 研修会の実施

体験学習の指導を円滑に進めるために、体験学習の内容が変わるたびに研修会を実施している。また、ボランティアの資質向上を図るために他の社会教育施設等の見学会や研修会を実施している。7 月 17 日（日）体験ボランティア説明会（28 年度の活動説明、展示室見学等）高校生ボランティア説明会（28 年度の活動説明、展示室見学等）各月初め 実技研修（月初めのプログラム変更時等に実技研修を実施。計 8 回）

エ その他

- ・ボランティアには館から食費・交通費の支給はない。
- ・ボランティアへの連絡のため、毎月、予定表を発行している。
- ・4 年以上経過し 60 日以上活動したボランティアに対して感謝状を贈呈する。
（平成 29 年 6 月のボランティア説明会で表彰予定。28 年度対象者 2 名）

(4) 刊行物の発行

	名 称	規格・頁数	部数
書籍	紀要第38号	A4 132頁	1,100
パンフレット類	れきはくはやわかり	A5 16頁	50,000
	群馬県古墳総合調査と金井東裏遺跡	A4 8頁	50,000
	れきはくたんけんマップ	B5 両面	40,000
	れきはくぐんまちゃんシール	A6 片面	40,000
	れきはくたんけんブック	B5 8頁	20,000
	平成28年度学校向け利用案内パンフレット	A4表裏	7,000
	ist テーマ展示 vol.1「ぐんまの祭りと芸能」	A3二つ折り	20,000
	ist テーマ展示 vol.2「道具の教室」	A3二つ折り	10,000
	歴博パスポート	A5 8頁	10,000
ちらし	リニューアルオープン「REBRN」ちらし	A4	40,000
	平成28年度テーマ展示 vol.2「道具の教室」ちらし	A4	40,000
ポスター	リニューアルオープン「REBRN」ポスター	B2	2,000
	平成28年度テーマ展示 vol.2「道具の教室」ポスター	B2	2,000

(5) 紀要

『群馬県立歴史博物館紀要第 38 号』を刊行した。A4 判 132 頁
内容は、以下のとおりである。

『群馬県立歴史博物館紀要第 38 号』執筆原稿一覧

No.	執筆者	表題	種別		
①	飯田 浩光	群集墳における馬具副葬古墳の様相	和文 横書	10	論文
②	新井 仁 梅澤 重昭 井上 慎也 浅間 陽 井上 太	安中市上人見遺跡における弥生再葬墓の高札	和文 横書	26	論文
③	石田 典子 津島 秀章	旧石器時代復元画製作のための基礎的検討 －群馬県伊勢崎市三和工業団地 I 遺跡の遺跡構造 研究を通して－	和文 横書	14	報告
④	武藤 直美	常設展示室出口パネルの活用について －お祭り情報募集から－	和文 横書	8	報告
⑤	小池 浩平	群馬県立歴史博物館改修工事に関する取り組み 3 －展示リニューアルとその課題－	和文 横書	32	報告
⑥	中山 剛志 小林 龍彦	「堤堀普請人足割□□の事」	和文 縦書	42	報告

計 132 頁

3 歴博アカデミー

平成28年度の体験者総数

個人	(大人) 4,708 人 (子ども) 6,386 人	団体	(大人) 1,351 人 (子ども) 12,267 人	合計	24,712 人
----	----------------------------	----	-----------------------------	----	----------

指導者

職員の他、一般県民から募集した『体験学習ボランティア』の協力により実施した。

(1) サマーワークショップ・各種イベント参加・勾玉作り体験

ア 体験プログラムの目的

- ・自らの体を動かし、五感を通して挑戦したり製作したりすることで、より深い達成感や感動を味わい、生きる力を育成する。
- ・過去の人間の生き方や願い、生活の知恵に根ざした伝統的な風習を体験的に学ぶことで、祖先への畏敬と親近感を深め、歴史や民俗に対する興味・関心を高める。
- ・参加体験型の学習形態により、体験者と職員・家族等とのコミュニケーションを通して、主体的に楽しく学習できる博物館を目指す。
- ・展示に関連した情報を提供することにより、体系的・共通体験的に来館者の展示に関する理解を深める。

イ 体験プログラム等の形態と実施場所

- ①個人の来館者に対応した体験（サマーワークショップ等）……学習室・展示室
- ②各種イベントに対応した出前体験……各種イベントのPRブース等
- ③団体等に対応した出前体験……社会教育団体の施設等

ウ 体験プログラム等の内容と体験者数(平成28年度)

- ①個人の来館者に対応（個人・親子向け体験学習メニュー）

【サマーワークショップ1】学校の夏季休業日 午後1時～3時30分

プログラム名	内 容 ・ ね ら い	体験者数
ミニミニ埴輪づくり 7/23～25	焼く粘土で武人埴輪をすることで、東国古墳文化展示室へ導くとともに東国文化への関心を高める。	[3日間] 930人
ミニミニ土偶づくり 7/30,31	天神原遺跡出土の土偶をモチーフにしたミニ土偶をすることで、原始展示への関心を高める。	[2日間] 261人
銅鏡団扇づくり 8/6,7,11,12	厚紙とミラーペーパーで三角縁神獸鏡の円形団扇をすることで、古代展示への関心を高める。	[4日間] 188人
ペーパー上州兜づくり 8/13～15	厚紙を組み合わせ、上州兜の特徴を持った兜をすることで、中世展示への関心を高める。	[3日間] 119人
浮世絵「倉賀野」多色刷り体験 8/20,21	木曾街道六拾九次「倉賀野」の浮世絵多色刷り体験をすることで、近世展示への関心を高める。	[2日間] 215人
①富岡製糸場しおりづくり	①フランス積みレンガをデザインにしたしおりを作	[2日間]

②まゆクラフト 8/27,28	ることで、世界遺産と近現代展示への関心を高める。 ②世界遺産伝道師協会によるまゆクラフト。ぐんまちゃんストラップを作る。	① 157 人 ② 227 人
--------------------	---	--------------------

【サマーワークショップ2】学校の夏季休業日 概ね午前10時30分～午後4時

プログラム名	内 容 ・ ね ら い	体験者数
れきはくぬりえ 7/23～9/2	各展示室に関係するぬりえを通して、園児や小学校低学年の歴史への興味関心を高める。	[38日間] 2,456人
勾玉作り（有料） 7/23～8/31	滑石を削り勾玉を作ることで、古代の人びとの思いや技術への関心を高める。	[36日間] 1,445人

【オープニングイベント】学校の夏季休業日 開館～閉館

ぐんまちゃんをさがせ 7/23～8/28	オープニングイベントとして、歴史博物館・近代美術館・群馬の森公園の中でぐんまちゃんを探すスタンプラリーを実施。	[34日間] 5,386人
-------------------------	---	------------------

【通年ワークショップ】土曜・日曜・祝日 午前10時30分～午後4時

勾玉づくり（有料） 7/23～8/28	滑石を削り勾玉を作ることで、古代の人びとの思いや技術への関心を高める。	[64日間] 647人
------------------------	-------------------------------------	----------------

※サマーワークショップ期間の実施日を除く（入れると2,092人）

②東国文化等に対応した出前親子向け体験

プログラム名	内 容 ・ ね ら い	体験者数
銅鏡チョコはにわチョコワークショップ（東国文化サミット）	銅鏡チョコやはにわチョコ作りのワークショップを実施し、博物館や東国文化への理解を深める。	431人
れきはくサイコロチャレンジ（ぐんまマラソン）	簡易な体験を実施したりパンフレット配布したりすることで博物館への理解を深める。	500人
個人対象体験学習 実施人数合計		12,962人

③社会教育団体等に対応した出前体験（申し込みに応じて随時実施）

プログラム名	内 容 ・ ね ら い	体験者数
総合福祉センターへの出前体験講座（浮世絵多色刷り体験） 9/6に実施	体験プログラムを希望する社会教育団体に随時対応。木曾街道六拾九次「倉賀野」の浮世絵多色刷り体験を主とした浮世絵の体験講座を実施。	1団体 43人
団体対象体験学習 実施人数合計		1団体 43人

(2) 東国古墳文化展示室

ア 体験プログラム等の概要

- ・東国文化の中心として栄えた古墳王国・群馬(上毛野)の当時の様子に迫るために、東国古墳文化セミナーや東国古墳文化シンポジウム、東国古墳文化鼎談を実施した。

イ 体験プログラム等の内容と体験者数

プログラム	内 容	体 験 者 数
東国古墳文化セミナー① 7/24 「古墳 発掘 今昔物語」 講師：深澤敦仁(当館教育普及係長)	群馬県の古墳発掘の歴史について戦前から現在までの動向を振り返りつつ、群馬県の古墳時代研究のこれからの展望についても述べた。	85 人
東国古墳文化シンポジウム 8/21 「古墳時代の東国と畿内」 講師：杉山秀宏(群馬県埋蔵文化財調査事業団主任調査研究員) 坂靖(奈良県立橿原考古学研究所附属博物館学芸課長) 内山敏行(とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター副主幹) コーディネーター：右島和夫(当館館長)	「金井東裏・金井下新田遺跡について」(杉山氏) 「葛城の王都・南郷遺跡と群馬の政治拠点」(坂氏) 「甲冑・馬具と金井東裏遺跡」(内山氏)の講演が行われた。その後、金井東裏遺跡の性格や甲を着た古墳人の人物像の解明に迫るべく白熱した討論が展開された。	228 人
東国古墳文化セミナー② 9/18 「金井下新田遺跡 情報最前線」 講師：原雅信(群馬県埋蔵文化財調査事業団専門調査役)	金井下新田遺跡についての最新情報とこれまでの成果から考えられる遺跡の特性について、1500年前のリアルな社会の姿に迫った。	122 人
東国古墳文化鼎談① 10/10 「前橋天神山古墳の発掘調査と東国古墳文化の幕開け」 講師：清水和夫(元群馬大学大学院教授) 右島和夫(当館館長) 深澤敦仁(当館教育普及係長)	東国屈指の前期古墳である前橋天神山古墳について、約半世紀前に実施された発掘調査を振り返った。そして、このことに近年の古墳研究の成果を照らしながら、東国古墳文化の幕開けにおける群馬県地域の役割を再検証した。	130 人
東国古墳文化セミナー③ 11/3 「上毛野の渡来文化」 講師：土生田純之(専修大学文学部教授)	群馬県地域における渡来人文化の波及と定着について、剣崎長瀬遺跡や綿貫観音山古墳などの県内の遺跡や古墳を通して、その実像に迫った。	135 人
東国古墳文化鼎談② 11/13 「黒井峯遺跡の発掘調査と東国古墳文化の営み」 講師：石井克己(元渋川市教育委員会文化財保護課長) 高久健二(専修大学文学部教授) 右島和夫(当館館長)	日本考古学に衝撃を与えた古代集落・黒井峯遺跡について、当時の発掘調査と近年の最新の集落研究を相互に検証しながら、今もなお、高い学術的価値をもつ黒井峯遺跡について、秘話を交えながら検証を加えた。	142 人
東国古墳文化鼎談③ 2/11 「東国古墳文化を解明した大規模発掘調査」 講師：井上唯雄(元群馬県埋蔵文化財調査センター所長) 徳江秀夫(群馬県埋蔵文化財調査事業団資料部長) 右島和夫(当館館長)	昭和 40 年代後半から始まった群馬県内における大規模発掘調査による成果が、東国古墳文化の解明に大きく寄与したことについて、当時の埋蔵文化財行政を取り巻く状況やさまざまなエピソードも含めて明らかにしていった。	144 人
ワークショップ・セミナー・参加人数合計		986 人

(3) 原始展示室

ア 体験プログラム等の概要

- ・旧石器時代の狩猟採集民の暮らしに迫るために「ハンターギャザラーズ」というテーマで、ワークショップ、セミナー、フェスタ、ウォークを実施。
- ・展示室と学習室の繋がりをより密接にするために、狩猟採集民の暮らしに欠かせるなかつた石器（黒曜石）を、それぞれの体験プログラムの展開の軸とした。
- ・各プログラムで展示に関連した情報を提供することにより、体系的・共通体験的に来館者の展示に関する理解を深める。

イ 体験プログラム等の内容と体験者数

プログラム名	内 容 ・ ね ら い	体験者数
原始セミナー① 7/31 講師：石田典子(当館学芸員)	「3万5千年前のムラ」という演題で、三和工業団地Ⅰ遺跡をモデルとした復元図に込めた遺跡研究成果と展示資料についての解説。	51人
原始セミナー② 9/25 講師：関口博幸(群馬県埋蔵文化財調査事業団主任調査研究員)	「群馬の旧石器時代遺跡から読み解く狩猟採集民の生活」という演題で、群馬県地域を中心とした旧石器時代の最新の発掘調査や研究成果について解説。	45人
原始ワークショップ 10/1～30 ①黒曜石 de キーホルダー作り ②ミッケ！原始時代の動物たち	①黒曜石の破片をレジン液に閉じ込め、オリジナルキーホルダーを作成することで、石器の材料であった黒曜石を間近に感じる。 ②ワークシートをもとに狩猟対象となった動物を展示室で探すことで狩猟採集民の生活に迫る。	[12日間] 1,129人 808人
原始ウォーク 10月中 「岩宿博物館に行こう」	旧石器時代についてより理解を深めるために岩宿博物館との相互連携を実施。※人数はカウントせず	[27日間]
原始フェスタ 11/20 「黒曜石で石槍を作ろう！」 講師：小菅将夫(岩宿博物館館長)	岩宿博物館館長の小菅将夫氏の指導の下、黒曜石を砕き槍先を作成。石器作成後は肉を切る体験も実施。石器時代の人びとの技術等に触れる。	66人
原始セミナー③ 1/9 講師：阿子島香(東北大学文学部教授)	「氷河時代の狩猟採取民の暮らしを探る」という演題で、日本や海外の遺跡の調査研究事例を紹介しながら、氷河時代を生きぬいた人類の暮らしを解説。	80人
ワークショップ・セミナー・フェスタ 参加人数合計		2,179人

(4) 古代展示室

ア 体験プログラム等の概要

- ・上野三碑、山王廃寺など、東国を代表する遺跡が集中する上野国の古代の世界に迫るため、ワークショップ、セミナーを実施した。
- ・子供からコアな来館者まで様々な方々が楽しく学べるプログラムを準備した。
- ・古代展示室へ足を運びたいくなるよう、展示室・展示資料の特性を分かり易く伝える工夫を行なった。

イ 体験プログラム等の内容と体験者数

プログラム	内 容	体験者数
古代セミナー① 8/6 「上野三碑の建てられたところ ーぐんまの飛鳥・奈良時代をさぐるー」 講師：飯田浩光(当館学芸員)	上野三碑のうち、山上碑に登場する「放光寺」は、前橋市の山王廃寺であることが知られている。山王廃寺をはじめ、三碑と関わる古墳や遺跡を概観し、三碑の建てられた時代を考えた。	47 人
古代セミナー② 12/11 「古代石文の国、ぐんまー上野三碑と山上多重塔ー」 講師：前澤和之(跡見学園女子大学兼任講師)	全国で僅かに 18 例が知られるだけの古代の石文(石碑と有銘石造塔)のうち、群馬県には4例が残っている。その特色ある文化が成立した事情と、記憶遺産としての私たちとのかかわりを探った。	98 人
古代ワークショップ 11/1～20 ①「写碑(シャヒ)」 ② 塗り絵(「陶枕(唐三彩)」、 「勾玉ぐんまちゃん」)	①「上野三碑」の碑文をなぞり、飛鳥・奈良時代の文字世界を体感した。解説をつけ、碑文の文意や文字文化の広まり、東アジアにおける歴史的意義、建立当時の時代背景についても触れた。 ② 多田山12号墳の陶枕は、純白の素地に三色の釉薬を面に施し、上下に宝相華文の型押しがある。破碎された形で出土し、展示品の観察のみでは全体の色彩をイメージしにくい。塗り絵を通して、豊かな色彩を感じていただいた。また、塗ったものを切り抜き、組み立て(実物大のペーパークラフト)、実際の大きさを体感してもらった。「勾玉ぐんまちゃん」は陶枕塗り絵が難しい子供たちを対象とした。	[7日間] 760 人
古代セミナー③ 1/22 「東アジアのなかの日本古代国家の形成と上毛野」 講師：鈴木靖民(横浜市歴史博物館 館長・國學院大學 名誉教授)	古代の東アジアは激動の時代で、戦乱の絶えなかった朝鮮半島から、多くの人々が日本列島に渡来し、新しい文化をもたらした。古代の群馬・上毛野も巻き込まれた東アジアの国際社会のダイナミックな動きを踏まえつつ、古代国家の形成過程について考え、さらに上毛野地域の社会の様相に迫った。	110 人
ワークショップ・セミナー・参加人数合計		1015 人

(5)中世展示室

ア 体験プログラム等の概要

- ・群馬県の名山「赤城山」を中心に中世の群馬県を城や中世の道、石造物などから多面的に捉え、展示をより深く、楽しめるようにする。

イ 体験プログラム等の内容と体験者数

プログラム名	内 容 ・ ね ら い	体験者数
中世セミナー① 8月14日 群馬県立歴史博物館学芸係長 築瀬大輔	「赤城山南麓・中世ストーンロードへの誘い」 赤城山南麓地域には豊かな石造物文化が華開いていた。セミナーでは、在地領主による中世の地域づくりを、石造物文化という視点から浮き彫りにする。	52人
中世セミナー② 10月9日 東京都立大学名誉教授 峰岸純夫	「赤城山燃ゆ～中世災害史の一コマ～」 『吾妻鏡』や『赤城神社年代記』といった資料をもとに、中世社会における環境と進行の問題を探る。	105人
中世ワークショップ 12月1日～28日	①新田義貞年賀状ぬり絵 難易度の高めなぬり絵3点と難易度の低めのぬり絵2点を用意し、見本を元に完成させる。完成したぬり絵は、持ち帰り年賀状として使用してもらう。 ②神保植松城縄張り図版画 神保植松城の縄張りを時代ごとに版画（スタンプ）で再現し、すべてのスタンプを説明を見ながら押すことで展示模型の縄張りと同様になるようにする。	[9日間] 275人
中世ウォーク 12月3日～3月26日	「赤城山南麓と黒川谷の戦国の城」 参加者に赤城山南麓から黒川谷の史跡（三夜沢赤城神社・大胡城跡・女湫城跡・膳城跡・山上城跡・高津戸城跡・深沢城跡・五覧田城跡）及び粕川歴史民俗資料館・新里郷土資料館・黒保根歴史民俗資料館を巡ってもらう。	[114日間]
中世フェスタ 12月18日	おはなし演奏会「神になった赤城姫のおはなし」 中世の展示内容にもある「神道集」から、赤城姫の神話の朗読とヴァイオリンの演奏のコラボレーションでお送りする。 朗読：久林純子、脚本：佐藤喜久一郎 ヴァイオリン：竹内千尋・若林智子	280人
中世セミナー③ 3月5日 江戸東京博物館主任学芸員 齋藤真一	「赤城山と戦国城館」 戦国時代といえば、戦争との関係が考えられるが、その実像に迫る。赤城山山麓の特徴をとおして、戦国社会の一面を考える。	132人
ワークショップ・セミナー・フェスタ 参加人数合計		844人

(6) 近世展示室

ア 体験プログラム等の概要

- ・近世展示室の核となる倉賀野宿・河岸復元模型のねらいは、上野国の中でも特に倉賀野は中山道と日光例幣使道という道中奉行管理の重要幹線が通り、利根川水運最上流河岸が位置する水陸交通の結節点であり、人とももの往来が活発な地であったことを伝える点にある。本体験プログラムでは、模型を見た来館者の「知の発見」を「知の成長」へと導くべく、ワークショップ、セミナー、フェスタ、ウォークを実施した。
- ・各プログラムで展示に関連した情報を提供することにより、体系的・共通体験的に来館者の展示に関する理解を深めることをねらいとした。

イ 体験プログラム等の内容と体験者数

プログラム名	内 容 ・ ね ら い	体験者数
近世セミナー① 8/20 講師：中山剛志（当館学芸員）	「宿場と河岸が一体となった倉賀野」という演題で、①なぜ倉賀野に注目したのか、②倉賀野の特異性、③近世上野国の特徴（近世展示室の紹介）という3つの視点で解説。	42人
近世セミナー② 1/8 講師：岡田昭二（前群馬県立文書館館長）	「古文書にみる近世上州の水陸交通—街道・水運・関所—」という演題で、交通の要衝である県内の近世交通史を解説。	87人
近世セミナー③ 2/26 講師：丸山雍成（九州大学名誉教授）	「近世日本の陸上交通—五街道などの宿駅と関所—」という演題で、五街道の中でも中山道や碓氷関所を題材として、近世の陸上交通を全国的視野から解説。	140人
近世ワークショップ 1/6～28 「寺子屋読み書き帳」	寺子屋を題材とした簡単な「読み・書き・計算」の問題を提供して取り組んでもらいながら、江戸時代の貨幣のレプリカのハンズオンも実施することで、参加者の知的好奇心を促すとともに、江戸時代（近世）への興味関心を高める。	[9日間] 211人
近世ウォーク 10/1、10/15、10/29 「群馬の森を歩こう」	群馬の森の中に3つのチェックポイントを設け、参加者には『旅行用心集』から抜粋し、現代語訳して作った冊子を配り、各チェックポイントでクイズに回答しながら群馬の森を歩く。	[3日間] 93人
近世フェスタ ① 10/16 ② 3/12 「倉賀野を歩こう」① 講師：中山剛志（当館学芸員） 「倉賀野を歩こう」② 講師：今井英雄氏（（財）群馬地域文化振興会評議員） 講師：三沢憲一氏（第1回高崎学検定高崎学博士）	江戸時代に水陸交通の結節点であった倉賀野は、現在でもその名残を各所に残していることから、当館学芸員やボランティアガイドも務める地元の有識者とともに現地を歩くことで、そのねらいを伝えるとともに、来館者の「知の発見」を「知の成長」へと導く。	[3日間] 44人
ワークショップ・セミナー・フェスタ 参加人数合計		617人

(7) 近現代展示室

ア 体験プログラム等の概要

- ・日本の近代化の中で群馬が果たした役割について生糸を視角にして考えるため、「群馬と世界をつないだ生糸」というテーマで、ワークショップ、セミナー、フェスタ、ウォークを実施した。

イ 体験プログラム等の内容と体験者数

プログラム名	内 容 ・ ね ら い	体験者数
近現代セミナー① 8/28 講師：佐藤有（当館学芸員）	明治期に蚕糸業に携わった人々の評価にスポットをあてながら、器械製糸における西洋技術の導入など群馬の近代化と蚕糸業について考察する。	28人
近現代セミナー② 12/25 講師：大島登志彦 （高崎経済大学教授）	「群馬の近代産業の盛衰と産業遺産の概要」 絹産業や鉱山など、県内の諸産業の盛衰とその歴史を刻む産業遺産を総合的に概観し、今後の保存や観光資源としての活性化にむけて考察する。	69人
近現代セミナー③ 2/5 講師：鈴木淳 （東京大学教授）	「二つの官営工場～新町紡績所と岩鼻火薬製造所～」 明治期に造られた二つの官営工場が群馬の地に近接して設けられた理由や、工場の組織などの検討を通して歴史的価値を考察する。	102人
近現代フェスタ 10/23 講師： 今井幹夫（富岡製糸場名誉顧問） 大野敏（横浜国立大学教授） 軽部達也（藤岡市教育委員会文化財保護課課長） 秋池武（下仁田町歴史館館長）	「群馬の世界遺産 —最新の研究成果と今後の展望—」 平成26年度の登録から2年が経過した世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」について、最新の研究成果を紹介し、今後の展望について考察する。 パネリスト：講師4名、井上昌美（県企画部世界遺産課世界遺産係長） コーディネーター：右島和夫（当館館長）	58人
近現代ウォーク 2/1～2/28	「群馬の絹遺産を巡ろう」 （ワークショップの場所でパンフやチラシの配布） ①県内の生糸関連施設への訪問を誘う。 ②高山社跡の資料を収蔵する当館と、資料を特別展示する高山社情報館（藤岡市）の双方観覧を誘う。 ※人数はカウントせず	[28日間]
近現代ワークショップ 2/1～2/28	①「上毛かるたすごろくで遊ぼう」 群馬を代表する文化として広く親しまれる「上毛かるた」を用いた双六で歴史に親しむ。 ②「ぐんまのれきし、みつけ！」 ワークシートを用い、展示室で「もの」を見ることでの気づきに焦点をあてる。	[8日間] 1,048人
ワークショップ・セミナー・フェスタ 参加人数合計		1,305人

(8) テーマ展示室

ア 体験プログラム等の概要

- ・テーマ展示「ぐんまの祭りと芸能」に関連し、地域の絆と伝統をテーマとした、ワークショップ、セミナーを実施した。
- ・郷土芸能は決まった日時、決まった場所でしか見られないため、学習ホールで公演することで、現地まで行かずとも多くの人に目にしてもらおう機会を提供した。
- ・子どもから大人まで、様々な方々が楽しく学べるプログラムを準備した。

イ 体験プログラム等の内容と体験者数

プログラム	内 容	体験者数
テーマセミナー① 9/4 「ぐんまの祭りと芸能」 講師：武藤直美(当館学芸員)	群馬県指定重要無形民俗文化財を中心に、県内の祭り・郷土芸能・行事についての理解を深めてもらうため、講演を行った。	23人
テーマセミナー② 10/30 「地域の伝統と絆」 講師：野田香里(群馬県文化財保護審議委員・映画監督)	上三原田の歌舞伎舞台操作伝承に携わる人たちを中心に地域の伝統を守っていく「かっこいい大人」をテーマに、講演をいただいた。	38人
テーマフェスタ① 7/23 「千本木龍頭神舞」 出演：千本木龍頭神舞保存会	学習ホールで群馬県指定重要無形民俗文化財に指定されている各団体に郷土芸能を演じてもらった。	① 360人
テーマフェスタ② 9/11 「古馬牧の人形浄瑠璃」 出演：下牧人形保存会		② 210人
テーマフェスタ③ 11/6 「下南室太々御神楽」 出演：下南室太々御神楽保存会		③ 225人
ワークショップ 9/3～9/25 ①「マイ水神祭」 ②「ミニ萬燈づくり」	①「五料の水神祭」の災厄払いにちなみ、水溶ける紙に取り払いたい災厄を書いてもらい、舟の形に折って水に流した。 ②「龍舞賀茂神社の萬燈祭」の祭具である萬燈のミニチュアを紙・発泡スチロール・割り箸等を用いて作り、萬燈の構造を学んでもらう。	[10日間] ① 223人 ② 205人
テーマウォーク 7/26～11/20 「お祭り情報募集」	来館者に自分が住んでいる町の祭りや郷土芸能、行事について専用紙に書いてもらい、学芸員からのコメントとして詳細な情報と写真を添えたシートを作成し、常設展示室出口パネルに貼り付け紹介した。	98人
ワークショップ・セミナー・参加人数合計		1382人

4 調査・研究

(1) 資料調査

ア 趣旨

郷土群馬の歴史や文化を考える上で、有益な各種資料の調査を「平成 28 年度群馬県立歴史博物館資料調査員の設置並びに資料調査実施要領」に基づいて実施した。

(ア) 資料調査の目的

博物館の調査研究及び展示等に必要な資料の発見や調査を行い、博物館の資料とする。

(イ) 資料調査員

資料調査員は、研究者及び有識者の中から委嘱する。

資料調査員は、考古・歴史・美術工芸・民俗の各部門について適任者を選定する。委嘱の期間は、平成 28 年 8 月 31 日から平成 29 年 3 月 31 日までとする。

イ 調査テーマ一覧

No.	分野	調査テーマ	調査員	担当職員
1	考古	藤岡市保美濃山遺跡出土資料の基礎的調査	文挾健太郎	石田典子
2	考古	古墳時代から古代にかけての集落関連資料の基礎的調査	石井克己	飯田浩光
3	歴史	飯塚正文庫の基礎調査	小林龍彦	中山剛志
4	歴史	高山社関係文書の資料調査	軽部達也	佐藤 有
5	教育普及	博物館教育プログラム構築のための『神道集』の調査	佐藤喜久一郎	築瀬大輔 小林伸之
6	博物館学 (展示)	リニューアルオープン後の学習ホール・展示室の活用方法に関する検討	久保 繁	小池浩平
7	教育普及	子どものための博物館に関する教育展示の理論と実践	染川香澄	深澤敦仁 中村みき

ウ 資料調査員会議

(ア) 第 1 回資料調査員会議

日時 平成 28 年 8 月 31 日 (水) 午後 1 時 30 分～

会場 群馬県立歴史博物館会議室

議題 委嘱状交付、調査実施方法、調査計画の検討、その他

(イ) 第 2 回資料調査員会議

日時 平成 29 年 3 月 16 日 (木) 午後 1 時 30 分～

会場 群馬県立歴史博物館会議室

議題 資料調査成果についての報告及び質疑応答、その他

(2) 外部検討委員会

ア 趣旨

前年度までの指導・助言を踏まえた学習ホール及び常設展示の内容について、平成28年7月23日（土）のリニューアルオープン以降の来館者のアンケートも参考に、展示内容の問題点や改善点等、専門家による適切な指導や助言を受けるべく、また、改修工事全体の報告も兼ねて外部検討委員会を実施した。

イ 委員

若狭 徹（高崎市教育委員会文化財保護課長）
大工原 豊（國學院大学講師・明治大学黒耀石研究センター研究員）
前澤 和之（跡見学園女子大学兼任講師）
徳江 秀夫（公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団資料部長）
齋藤 慎一（東京都江戸東京博物館主任）
飯森 康広（群馬県教育委員会文化財保護課文化財活用係長）
岡田 昭二（前群馬県立文書館長）
古澤 勝幸（群馬県教育委員会文化財保護課埋蔵文化財主監）
吉良 芳恵（日本女子大学教授）
大島登志彦（高崎経済大学教授）

ウ 委員会の開催

全体検討会を1回実施し、改修工事の報告を行うとともに、展示内容の問題点や改善点について指導・助言を受けた。

日時：平成28年9月2日（金）13:30～

会場：群馬県立歴史博物館 会議室

議題：改修工事の報告及びバックヤードについて、学習ホール及び各展示室について

(3) 調査研究

博物館活動及び館職員の資質向上に資するために今年度の調査研究計画を決定し、実施したものである。

平成 28 年度調査研究テーマ一覧

No.	氏名	分野	テーマ
1	築瀬大輔	歴史	中近世移行期社会における地侍の研究
2	佐藤 有	歴史	明治初年の群馬県の勸業政策について
3	飯田浩光	考古	群集墳における馬具副葬形態の地域間比較
4	武藤直美	民俗	山村木工用具調査

(4) 各調査研究部門

ア 考古部門

調査研究として、飯田主任が「群集墳における馬具副葬形態の地域間比較」を実施した。博物館講座では、石田主幹が「3万5千年前のムラができるまで」、飯田主任が「上野三碑の建てられたころーぐんまの飛鳥・奈良時代をさぐるー」と題してそれぞれ発表した。

資料調査では、石田主幹が文挾健太郎資料調査員と「藤岡市保美濃山遺跡出土資料の基礎的調査」、飯田主任が石井克己資料調査員と「古墳時代から古代にかけての集落関連資料の基礎的調査」をそれぞれ行った。

イ 歴史部門

調査研究として、築瀬係長が「中近世移行期社会における地侍の研究」、佐藤主任が「明治初年の群馬県の勸業政策について」を実施した。

博物館講座では、築瀬係長が「赤城山南麓・ストーンロードへの誘いー中世武士の石造物文化と地域づくりー」、中山副主幹が「宿場と河岸が一体となった倉賀野」、佐藤主任が「群馬の近代化と蚕糸業ー近代制度の導入と蚕糸業の展開ー」と題してそれぞれ発表した。

資料調査では、築瀬係長が佐藤喜久一郎資料調査員及び小林主幹と「博物館教育プログラム構築のための『神道集』の調査」、中山副主幹が小林龍彦資料調査員と「飯塚正文庫の基礎調査」、佐藤主任が軽部達也資料調査員と「高山社関係文書の資料調査」をそれぞれ行った。

ウ 民俗部門

民俗部門は、今年度は武藤学芸員 1 名の構成により、調査研究活動が実施された。テーマ展示「ぐんまの祭りと芸能」に関連し、昨年引き続き群馬県指定重要無形民俗文化財の祭り・行事・郷土芸能についての調査を実施した。また、諸職資料としての山村木工用具コレクションに関連する調査研究を実施した。

エ 美術工芸部門

該当なし

5 資料の収集・整理

(1) 資料整理

ア 考古部門

改修工事に伴い、藤岡歴史館及び高崎倉庫に保管された資料について、巡視及び資料点検を定期的実施した。

イ 歴史部門

改修工事に伴い、館外保管施設に移転中の資料管理(巡回点検及び資料点検)を実施した。

ウ 民俗部門

改修工事に伴い、館外保管施設に移転中の資料管理(巡回点検及び資料点検)を実施した。

エ 美術工芸部門

該当なし

(2) 保存管理

資料整理および管理は各研究室・収蔵庫・展示室ごとに行われるが、共通事項として保存環境の整備・資料の修復があり、以下の事業を行った。

ア 保存環境の整備

- ・資料移動先の温湿度調整・記録（機械管理とデータロガーにおける）、記録の供覧
- ・改修後の収蔵庫・展示室の温湿度調整・記録（機械自動管理と環境モニタリングシステムによる）
- ・虫菌害防止対策として、資料移動先の収蔵施設の巡視・点検・清掃および防虫
- ・防カビ施工
- ・資料移動先および改修後の収蔵庫・展示室における環境調査

イ 資料の修復及び保存修理

刀剣資料 80 振りと鉄砲資料 80 挺の手入れを各 1 回実施した。

ウ 資料保存研修会

資料保存研修会（第二期）を実施要領に基づき実施した。参加者は 42 名であった。

(3) 収集資料

本年度は館外に保管していた館蔵資料及び寄託資料を搬入し、各部門の収蔵庫へ配架作業を行っていたことから、資料収集は実施しなかった。総計は昨年度と同様で 100,001 点となる。

ア 平成28年度所蔵資料集計

部 門	自 然	考 古	歴 史	美術工芸	民 俗	教育普及	合 計
	件 点	件 点	件 点	件 点	件 点	件 点	件 点
寄贈資料	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
購入資料	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
移管資料	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
採集資料	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
28年度	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
総 計	129	32,891	45,285	2,504	19,043	1,130	100,001

イ 寄贈資料 0件

ウ 購入資料 0件

エ 移管資料 0件

オ 採集資料 0件

カ 寄託資料 0件

6 利用状況

(1) 利用者数

ア 月別利用者数

5 利用状況

(1) 利用者数

ア 月別利用者数

() 内は開館日数

月 (日数)	4月 (0)	5月 (0)	6月 (0)	7月 (9)	8月 (27)	9月 (26)	10月 (26)	11月 (18)	12月 (20)	1月 (24)	2月 (24)	3月 (23)	計 (197)
観覧者													
一般				11,028	6,559	3,453	4,439	1,887	1,411	1,838	2,610	2,424	35,649
高・大学生				66	316	126	86	53	108	82	68	82	987
小・中学生				7,071	2,142	1,064	2,310	535	414	725	696	617	15,574
幼年者				589	466	176	382	105	97	169	179	249	2,412
身障者				0	242	98	135	44	61	89	86	72	827
小計	0	0	0	18,754	9,725	4,917	7,352	2,624	2,091	2,903	3,639	3,444	55,449
行事参加者													0
計	0	0	0	18,754	9,725	4,917	7,352	2,624	2,091	2,903	3,639	3,444	55,449
累計	0	0	0	18,754	28,479	33,396	40,748	43,372	45,463	48,366	52,005	55,449	

イ 学校団体等行事参加者数(幼・小・中学生観覧者数に含まれ、複数のプログラムに参加の学校もあり)

月 (日数)	4月 (0)	5月 (0)	6月 (0)	7月 (9)	8月 (27)	9月 (26)	10月 (26)	11月 (18)	12月 (20)	1月 (24)	2月 (24)	3月 (23)	計 (197)
体験学習													
あかりの学習									94	204	251	127	676
石臼									2	4	4	2	12
									105	287	315	127	834
									2	3	6	2	13
展示学習													
昔の道具調べ									181	304	334	134	953
探検ブック・マップ				174	168	669	1,680	327	181	117	125	153	3,594
計	0	0	0	174	168	669	1,680	327	561	912	1,025	541	6,057
累計	0	0	0	174	342	1,011	2,691	3,018	3,579	4,491	5,516	6,057	

ウ 行事参加者数(個人・団体)

月 (日数)	4月 (0)	5月 (0)	6月 (0)	7月 (9)	8月 (27)	9月 (26)	10月 (26)	11月 (18)	12月 (20)	1月 (24)	2月 (24)	3月 (23)	計 (197)
行事参加者				5,794	6,961	1,112	2,578	876	769	577	1,588	877	21,132
学校団体行事参加者				174	168	669	1,680	327	561	912	1,025	541	6,057
計	0	0	0	5,968	7,129	1,781	4,258	1,203	1,330	1,489	2,613	1,418	27,189
累計	0	0	0	5,968	13,097	14,878	19,136	20,339	21,669	23,158	25,771	27,189	

エ 団体利用者数

月 (日数)	4月 (0)	5月 (0)	6月 (0)	7月 (9)	8月 (27)	9月 (26)	10月 (26)	11月 (18)	12月 (20)	1月 (24)	2月 (24)	3月 (23)	計 (197)
一般													
団体数					1	4	5	8	1				6
人数					29	275	161	229	88				213
高・大学生					2	1		2	1	1			8
人数					45	39		17	38	27			171
中学生					2	1	2						5
人数					46	16	14						76
小学生				2	1	10	21	5	3	5	7	4	58
人数				150	122	653	1,473	327	192	304	334	208	3,763
幼年				1			3						6
人数				24			85					50	159
身障													0
団体数													0
人数													0
社教等				1	7	1	9	8	2	5	1	3	37
人数				23	168	13	84	146	73	54	22	88	671
計	0	0	0	4	13	17	40	23	7	11	8	16	139
人数	0	0	0	197	410	996	1,817	719	391	385	356	564	5,835
招待者				0	214	118	102	111	45	64	163	150	967

オ 観覧者数

	有料観覧者	無料観覧者	合計
常設	22,143	33,306	55,449

(2) 資料の特別観覧

改修のため、資料の特別観覧利用は停止した。

(3) 資料の貸し出し許可

下記の資料66件について貸出許可の申請があり承認した。

貸出No.	資料名称	考古		歴史		美工		民俗		その他		計	
		実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真
1	「楕取素彦肖像画」の画像データ				1								1
2	「山王座寺出土緑釉水注等一括資料集合写真」・「綿貫観音山古墳航空写真」の画像データ		2										2
3	「(天文7年)6月15日付小林平四郎宛上杉憲政書状」(小林家文書)・「(天文17年)10月26日付小林平四郎宛上杉憲政書状」(小林家文書)・「(天文17年)12月13日付小林平四郎宛上杉憲政書状」(小林家文書)・「元亀3年6月14日付高山彦兵衛尉宛武田家印判状写」(高山文書)の画像データ				4								4
4	「依藤本物語絵巻」の画像データ				1								1
5	「高塚古墳出土資料(武人埴輪)」の画像データ			1									1
6	鎌倉銅銘符		1										1
7	「老農夜話」の画像データ				1								1
8	「上野国伊香保温泉繁榮之図」の画像データ				1								1
9	「高塚古墳出土資料(武人埴輪)」の画像データ			1									1
10	「上野国碓氷郡上磯辺村与中野谷村就野論裁断之覚」の画像データ				1								1
11	「高山社写真帖」(高山社・養蚕学校関係資料)の画像データ				3								3
12	「版画新刻養蚕之図(女官養蚕図)」の画像データ						1						1
13	「養蚕実習風景」(高山社・養蚕学校関係資料)の画像データ				1								1
14	「版画東京上野高崎街風景」の画像データ						1						1
15	「上野国碓氷郡上磯辺村与中野谷村就野論裁断之覚」の画像データ				1								1
16	「上野国碓氷郡上磯辺村与中野谷村就野論裁断之覚」の画像データ				1								1
17	「上野塚廻り3号墳出土資料(椅子に腰掛ける女子)」の画像データ			1									1
18	「高塚古墳出土資料(武人埴輪)」・「剛志天神山古墳(鶏形埴輪)」の画像データ				2								2
19	「版画上州富岡製糸場図」の画像データ						1						1
20	「桐生書上家織物取引図」の画像データ				1								1
21	「高塚古墳出土資料(武人埴輪)」の画像データ			1									1
22	「浅間焼吾妻川利根川泥押絵図」の画像データ				1								1
23	「楕取素彦肖像画」の画像データ				1								1
24	「上野塚廻り3号墳出土資料(椅子に腰掛ける女子)」の画像データ			1									1
25	「高山社写真帖」(高山社・養蚕学校関係資料)の画像データ				2								2
26	「上野国碓氷郡上磯辺村与中野谷村就野論裁断之覚」の画像データ				1								1
27	「浅間焼吾妻川利根川泥押絵図」の画像データ				1								1
28	「富岡製糸場模型」の画像データ				5								5
29	「上野国碓氷郡上磯辺村与中野谷村就野論裁断之覚」の画像データ				1								1
30	「高塚古墳出土資料(武人埴輪)」の画像データ			1									1
31	「老農夜話」の画像データ				2								2
32	「高崎藩足軽具足」の画像データ				1								1
33	「高山養蚕」(高山社・養蚕学校関係資料)の画像データ				1								1
34	「楕取素彦肖像画」の画像データ				1								1
35	「上野国碓氷郡上磯辺村与中野谷村就野論裁断之覚」の画像データ				3								3
36	「綿貫観音山古墳出土資料(大帯・三人童子埴輪・王妃埴輪)」・「上野塚廻り3号墳出土資料(巫女埴輪)」・「上野塚廻り4号墳出土資料(大刀を持つ女性埴輪)」の画像データ			5									5
37	「元亀2年2月22日付高山大和守宛武田信玄書状」(高山社・養蚕学校関係資料)の画像データ				1								1
38	「綿貫観音山古墳出土資料(銅水瓶・埴輪)」・「高塚古墳出土資料(武人埴輪)」の画像データ			3									3
39	「上野国碓氷郡上磯辺村与中野谷村就野論裁断之覚」の画像データ				1								1
40	「山王座寺出土緑釉水注等一括資料集合写真」の画像データ			1									1
41	「舞台遺跡第1号古墳出土石製模造品(刀子・下駄・勾玉・鎌・白玉・有孔円板・鎌)」・「舞台遺跡全景写真」の画像データ			2									2
42	「綿貫観音山古墳出土資料(埴輪集合写真)」の画像データ			1									1
43	「道満遺跡第1号方形周溝墓写真」・「道満遺跡発掘調査風景写真」の画像データ			2									2
44	「富岡製糸場模型」の画像データ				1								1
45	「山王座寺出土緑釉陶器」の画像データ			1									1
46	「版画新刻養蚕之図(女官養蚕図)」の画像データ						1						1
47	「上野国碓氷郡上磯辺村与中野谷村就野論裁断之覚」の画像データ				1								1
48	「上野国碓氷郡上磯辺村与中野谷村就野論裁断之覚」の画像データ				1								1
49	「養蚕新論」の画像データ				1								1
50	「孝保鐘」の画像データ								1				1
51	「版画上州富岡製糸場図」の画像データ						1						1
52	「綿貫観音山古墳出土資料(鉄胄一頭)」の画像データ			1									1
53	「道満遺跡第1号方形周溝墓写真」・「道満遺跡発掘調査風景写真」の画像データ			2									2
54	「観応3年5月29日付足利尊氏知行宛行状」(小林家文書)の画像データ				1								1
55	「湿板写真 カボチャを担いで笑う島蔵谷像」(島蔵谷・隆関係資料)の画像データ						1						1
56	「上野塚廻り4号墳出土資料(杯を捧げる女子)」の画像データ			1									1
57	「鎌倉のぼり」の画像データ								1				1
58	「上野塚廻り3号墳出土資料(杯を捧げ持ち椅子に坐る女子)」			1									1
59	「上野塚廻り3号墳出土資料(杯を捧げ持ち椅子に坐る女子)」			1									1
60	「上野塚廻り3号墳出土資料(杯を捧げ持ち椅子に坐る女子)」			1									1
61	「木曾街道六十九次 復刻版(高崎宿・倉賀野宿・新町宿)」の画像データ						3						3
62	「上毛かるた原画(雷と空風義理人情)」・「浅間焼吾妻川利根川泥押絵図」			1					1				2
63	「道祖神」・「渡流しの舟」・「ホウゴ」								3				3
64	「伝 群馬・安中市原市所在古墳出土龍鳳文環頭太刀」の画像データ			1									1
65	「版画富岡製糸場工女勉強之図」の画像データ						1						1
66	「木曾街道六十九次(板鼻宿・安中宿・松井田宿・坂本宿)」の画像データ						4						4

(4) 資料の掲載許可

下記の資料 14 件について掲載許可の申請があり承認した。

No.	資料名称	考古		歴史		美工		民俗		その他		計	
		写真	他	写真	他	写真	他	写真	他	写真	他	写真	他
1	特攻隊員遺書			1									1
2	四季農耕図			1									1
3	赤堀茶白山古墳出土資料(家形埴輪レプリカ)	1											1
4	上野塚廻り4号墳出土資料(埴輪跪く男)	1											1
5	綿貫観音山古墳関係資料(埴輪あぐらを組み合わせる男子・埴輪祭具を捧げ持ち正座する女子・埴輪皮袋を捧げ持つ女子・埴輪連座する三人童女・古墳上空からの写真・遺跡発見時の写真)	6											6
6	唐墓壁画(男侍図 段賢壁墓 墓道西北壁・執瓶侍女図 李爽墓 墓室北壁)					2							2
7	綿貫観音山古墳出土資料(水瓶・獣帯鏡)	2											2
8	楯取素彦肖像画			1									1
9	唐墓壁画(宮女図 李仙蕙墓 前室東壁南側)					1							1
10	間引き防止の教戒書・丙午迷信の教戒書・土岐頼知写真			3									3
11	一府十四県連合共進会第一会場写真・売店街写真			2									2
12	森村西三作品写真(ペリカン銀香炉・銅鶴置物・白銅鷲置物・銅鶴置物・銅白鷲香炉・銅鳳凰香炉)			6									6
13	綿貫観音山古墳出土資料(埴輪群像・武人埴輪・金銅製杏葉・金銅製水瓶・鉄製冑)	5											5
14	刀 銘秋本家臣川部儀八郎藤原正秀 天明丑年八月日					1							1

7 改修工事

(1) 資料の帰還作業

ア 概要

歴史博物館改修工事に伴い、館外の4箇所の保管場所（県立文書館、県立農林大学校、藤岡歴史館、高崎倉庫）移転・保管していた博物館資料の館への帰還作業を行った。梱包・輸送・開梱・配架の各作業は、日本通運株式会社群馬支店と委託契約して実施した。

場所	位置	保管資料の分野所有区分				所有区分		
		考古	歴史	美術工芸	民俗	館蔵	国有	寄託
文書館	3F収蔵庫		●			●		
農林大学校	黎明寮2F	●	●		●	●		
	黎明寮3F	●	●		●	●		
藤岡歴史館	特別収蔵庫1	●				●		
	特別収蔵庫2		●			●		
	考古収蔵庫	●				●		
高崎倉庫	100 番倉庫	●	●	●	●	●		
	B室	●	●	●	●	●	●	●
	収蔵庫	●	●	●		●	●	●

イ 作業行程

[第1期]

高崎倉庫（100番倉庫）から収蔵庫へ輸送・仮配架
平成28年5月9日（月）～6月24日（金）

[第2期]

農林大学校から民俗収蔵庫2・3へ輸送・仮配架
平成28年12月5日（月）～27日（火）

県立文書館から歴史収蔵庫1・2へ輸送・仮配架
平成29年1月10日（火）～19日（木）

藤岡歴史館から考古収蔵庫へ輸送・仮配架
平成29年1月20日（金）～29日（日）

高崎倉庫（B室・収蔵庫）から特別収蔵庫1・2・考古収蔵庫へ輸送・仮配架
平成29年1月30日（月）～2月25日（土）

各収蔵庫内にて開梱・本配架

平成29年2月27日（月）～3月17日（金）

(2) ミュージアムショップの設置

平成23年度の事故以後企画展の開催ができなくなったことが原因で、ミュージアムショップを閉鎖せざるを得なくなった。それ以来、近代美術館友の会の運営する近代美術館ミュージアムショップの一部を利用して、図録・紀要等一部の書籍のみ販売することで、ショップ機能を維持してきた。

ミュージアムショップの復活は、館関係者としては悲願であり、来館者にとっても博物館の楽しみの1つである。平成28年度に入り、県産材を活用したショップ作りに取りかかり、電源工事など付帯工事を含めて実施した。

冬期に入ると、ショップ内の照度を上げるため、商品棚に照明工事を追加増設する工事を実施した。また、運営にあたっては、障害者の就労支援の一環としての場を提供するため、県障害政策課を始め、関係団体の協力を得て、社会福祉法人「ゆずりは会」障害福祉サービス事業所「かたばみ」の就労支援A型の障害者が販売員として携わることになった。

ショップの商品については、3部構成とした。まず、歴博のオリジナルの書籍・グッズ類、次に「かたばみ」で製作した天然酵母パン等授産製品、最後に「ぐんまちゃんグッズ」等県PRグッズなどとした。

以上により、7/23リニューアルオープンを迎えた。

【ミュージアムショップ概要】

場 所：学習ホール内

面 積：約25㎡

什器等：控室兼商品倉庫 1箇所（県産材）店内照明付

本棚 2台（県産材）照明付

商品棚 1台（県産材）照明付

商品置き平台 1台（県産材）

天板加工平台 2台（県産材）

カウンター 1台（博物館既存什器）手元照明付

電 源：3箇所（全て床下配線）

合計4500W（最大6000W）

設置費：3,177,360円

(3) 改修工事の状況

ア 環境測定

改修工事竣工後、1年間の環境測定を実施した。収蔵庫は、温度 $22^{\circ}\text{C} \pm 1^{\circ}\text{C}$ （夏季 $24^{\circ}\text{C} \pm 1^{\circ}\text{C}$ ）、湿度 $55\% \pm 5\%$ の設定、展示室は、温度 $22^{\circ}\text{C} \pm 2^{\circ}\text{C}$ （夏季 $24^{\circ}\text{C} \pm 2^{\circ}\text{C}$ ）、湿度 $55\% \pm 10\%$ の設定である。4月から毎月1週間分のデータを文化庁・東京文化財研究所へ提出した。また、空気環境については5月にパッシブインジケータを使用した簡易検査を実施した。温湿度・空気環境測定の対象箇所は、下記のとおり重要文化財を展示・保管する収蔵庫・展示室・展示ケースである。空気環境については、改修工事の一環で8月にもインピンジャー法で収蔵庫・展示室での測定を行った。温湿度については、3月までとくに問題はなく設定値内であった。空気環境については、収蔵庫・展示室は問題はなかったが、移動ケースは基準値を超えたため、6月に再調査を実施したが問題はなかった。

対象箇所

(1) 収蔵庫（前室含む）

特別収蔵庫1・特別収蔵庫2・考古収蔵庫・民俗収蔵庫3

(2) 展示室（固定ケース含む）

企画展示室・東国古墳文化展示室・原始展示室・古代展示室・中世展示室
近現代展示室・テーマ展示室

(3) 移動ケース

24L エアタイト・12L エアタイト・9L エアタイト・24S エアタイト・14L エアタイト
14S エアタイト・7L エアタイト

イ 1年目検査

3月13日（月）に改修工事の1年目検査が行われた。博物館から建物・電気・空調・給排水・展示ケースについて、機能面や使い勝手等における課題を説明した上で、建築課・日本設計・施工業者で館内外の目視調査を行い、是正対応等を検討した。次年度も2年目検査を実施する予定である。

(4) 展示製作の状況

ア 展示製作調整会議

歴史博物館・文化振興課・丹青社の3者合同で、昨年度に引き続き展示製作調整会議を開催した。会議では、現場の進捗状況や、博物館と丹青社からの確認・指示事項の報告・協議を行い、3者全体で情報を共有した。今年度はグラフィックや映像などのソフト製作を中心に学芸担当者と丹青社との調整が中心であった。

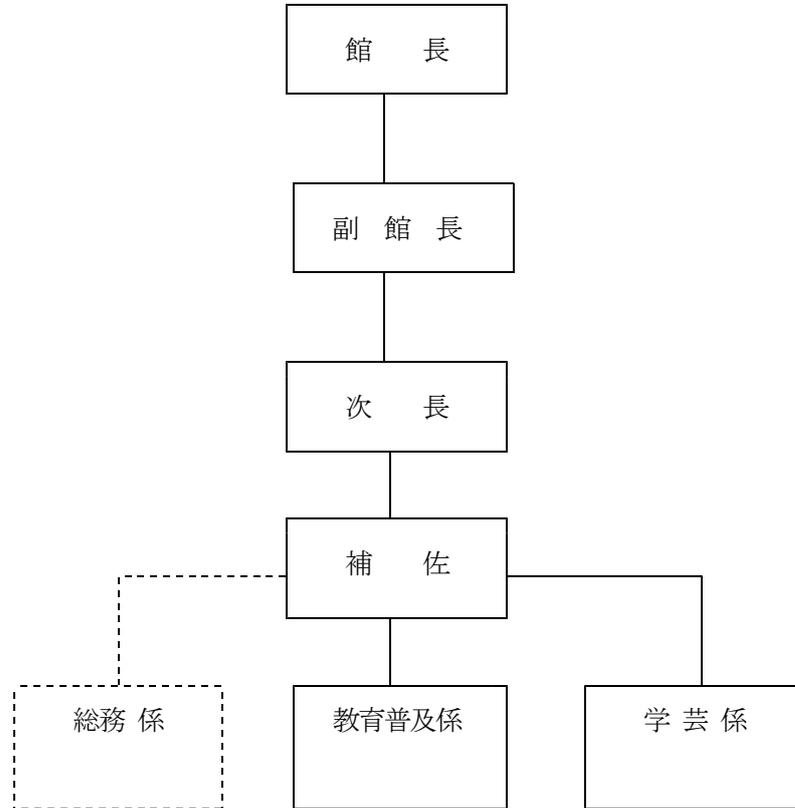
合同会	第12回	平成28年4月6日(水)	第13回	平成28年5月18日(水)
学芸部会	第17回	平成28年4月6日(水)	第18回	平成28年5月18日(水)

イ 履行期限の延長

改修工事の3ヶ月工期延長にともない、展示製作についても履行期限が当初より3ヶ月延長され、6月末となった。また、模型や映像ソフトで新たな内容が追加されたため、増額変更契約も併せて行った。展示製作の総費用は340,557千円となった。

Ⅱ 組織及び運営（平成28年4月1日現在）

1 運営組織



2 歳出・歳入決算概要

(1) 歴史博物館費

単位：千円

事業名	決算額	内 訳			左のうち特定財源	
		事項名	内 容	金額	金額	内 訳
		嘱託職員経費	館長他嘱託職員人件費	26,538	74	雇用保険料個人負担分
歴史博物館運営	153,742	館管理運営	施設設備保守・光熱水費他事務経費	54,143		
		改修工事運営	資料保管	73,061		
博物館展示	15,140	常設展示	展示制作・写真撮影	4,537	729	図録販売収入
					3,991	歴博入館料
		企画展示	展示制作	10,603		
		普及活動	博物館だより・博物館カレンダー作成	779		
教育普及活動	3,873	学校教育連携推進	学校向け展示見学用資料作成	805		
		生涯学習推進	学校向け及び一般向け体験学習実施	2,289	2	レクリエーション保険参加者負担分
		資料収集管理	資料収集、収蔵品管理、資料情報システムの運用	49,100		
調査研究	53,864	調査研究活動	資料調査、研究紀要作成	1,511		
		情報システム整備	収蔵資料管理・公開システムの構築	3,253		
合計	226,619				4,796	

群馬県立歴史博物館 年報

第38号（平成28年度版）

平成29年6月16日発行

発行：群馬県立歴史博物館

〒370-1293 高崎市綿貫町992-1

TEL (027) 346-5522

FAX (027) 346-5534